

ハンディサーマルカメラによる 発熱者スクリーニング作業手順

機器仕様

- **温度計測範囲**
30.0～45.0℃
- **温度計測誤差**
± 0.5 ℃
- **カメラ解像度**
サーマル解像度: 160 × 120
- **使用環境**
屋内専用, 無風状態; -10～50℃

機器設置

～設置時のご注意点～

この発熱スクリーニングの効果は、環境によって大きく影響を受けます。このスキームは、これらの屋内環境または、穏やかな空気と一定した温度のシナリオにのみ適用されます。また、カメラの設置場所も温度計測の精度に大きく影響します。計測精度を改善するには、設置環境が特定の要件を満たしている必要があります。

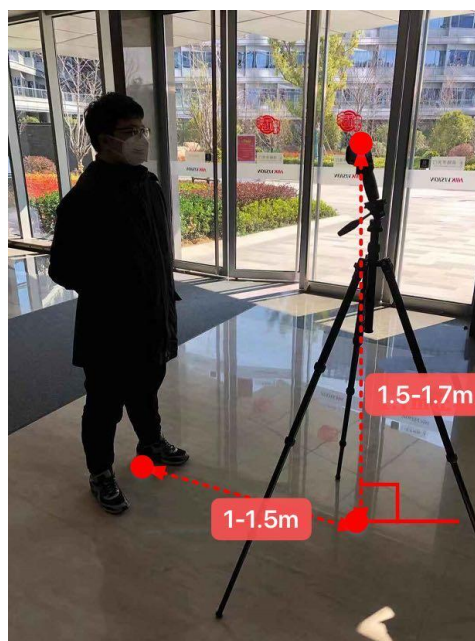
1. 一定方向の通行者を撮影できる設置環境を選択して、カメラがすべての通行者の顔を完全にキャプチャするようにします。計測中に短時間滞在することをお勧めします。
2. 穏やかな空気と一定した温度条件の屋内環境を選択します。急激な温度変化のある屋外環境は推奨されません。
3. 建物のエントランス等、屋外との出入り口で使用する場合、出来るだけエントランスから離れた位置に設置してください。
入場者は、計測前に5分以上屋内にいる事を推奨いたします。
これにより、屋外の温度環境が体表面温度に与える影響を減らすことができます。
4. 撮影範囲内に高温または低温の物体を置かないでください。
5. カメラは三脚などにしっかりと固定していただくと、揺れによる温度計測のエラーを抑えることができます。

カメラの設置

- 下記のように、一定方向の通行者を撮影し、通過する人の顔全体をキャプチャ出来るよう、据え付け位置を調整してください。



- 設置高は、カメラのレンズが、床から1.5-1.7mになるよう設定することを推奨致します。顔と同じ高さを目安とし、できるだけ傾きが無い高さに設置するよう、調整して下さい。
- カメラと計測対象物との距離は、通常1~1.5mに設定することを推奨致します。

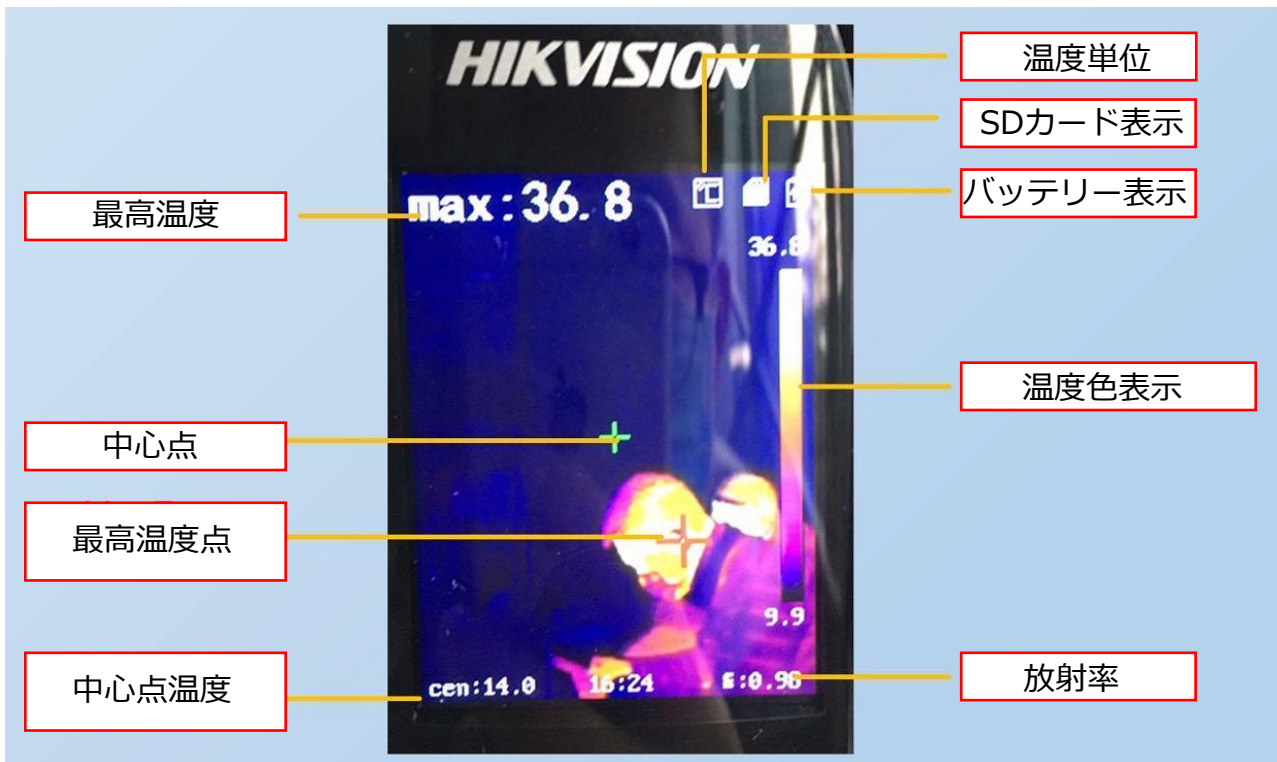


- 撮影範囲内に人体よりも温度が高い物体が入らないよう、設置位置を調整してください。

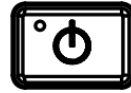
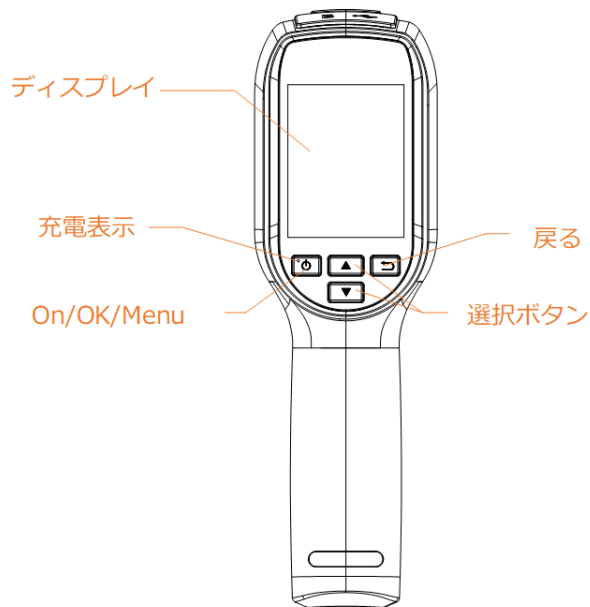
- 本製品は、一般的な三脚に取り付けることができます。



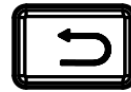
操作画面



➤ 機器の各種インターフェースは、下図のようになっております。



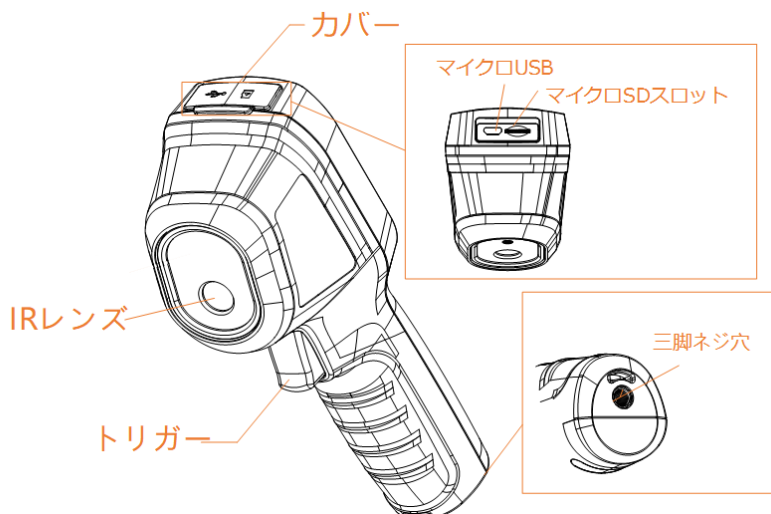
長押し: 電源 On/Off
1回: メニュー表示又は決定キー



「メニュー表示終了」、「前画面に戻る」、「前のメニューに戻る」



ナビゲーションボタン
▽, △ボタンを押すと、パラメータを選択出来ます。
⏻ ボタンで決定します。



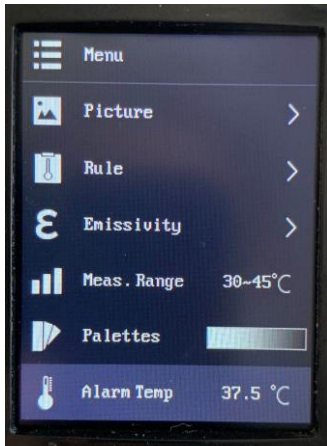
＜充電表示＞
充電中は赤色、満充電時は緑色に点灯します。

＜USBポート＞
バッテリーの充電やスナップショットのエクスポートを行うことが出来ます。

＜トリガー＞
トリガーを引くと、画像をキャプチャします。

設定上の注意

- 1, アラーム温度を設定してください。(標準的な設定は37.5℃です。)環境条件によって、設定値を上下させて下さい。測定値が設定値を超えると、検出された最大温度が表示され、下図の様に値が赤く点滅します。

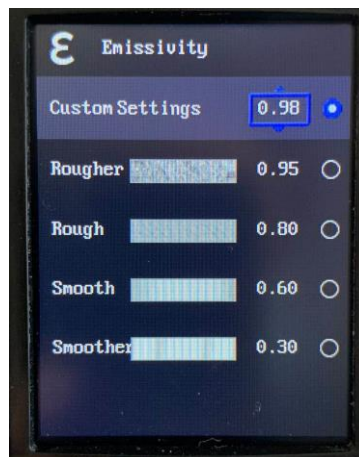


Normal Temp. Value: no Alarms

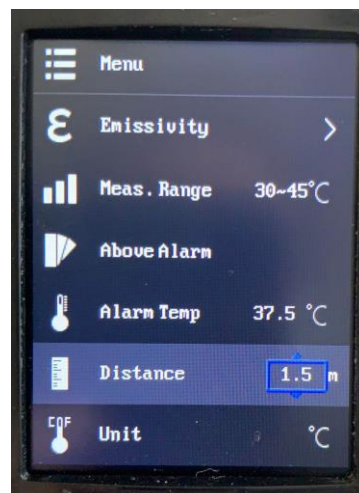


Abnormal Value: triggers Alarm

2. 体表面温度を検出する場合、対象物の放射率(Emissivity)を調整します。標準値は0.98です。



3. カメラと測定対象物間の実際の距離で距離を設定します。この実際の距離は、以下に示すように通常1~1.5mに設定することをお勧めします。



その他の注意事項

- 本製品を安定動作させるため、使用前に5分間の予熱を行う必要があります。
- 測定された体表面温度は、最高温度の表示と同じです。
- 本製品は、発熱者の予備スクリーニングに使用することが推奨されています。異常な体表面温度が検知された場合、専用の体温計で正確な温度を計測して下さい。
- 設置方法と構成に関する内容は、カメラを固定設置して使用されることを前提としております。手に持って使用したり、屋外での運用は、あまりお勧め致しません。このような環境では、温度測定の精度が低下する場合があります。